



佐農高だより

～ 汗をかき 人と和して 己を磨く ～

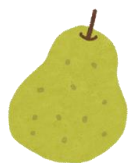
令和5年度 第8号(令和5年11月発行)

佐賀県立佐賀農業高等学校 校長 外戸口 良文

佐賀県杵島郡白石町大字福田 1660

TEL 0952-84-2611 FAX 0952-71-5009

<http://www.education.saga-ed.jp/hp/saganougyoukoukou/>



早いものでもう12月。今年も残すところあとひと月です。この2学期、収穫はたくさんありましたか。街はクリスマスで華やかに飾り付けられ、うきうきした気持ちになる季節。期末考査が終われば、三者面談、クラスマッチ、そして2年生は北海道修学旅行です。事故や病気に見舞われぬよう、気を引き締めて生活しましょう。

第56回 佐農祭



全校生徒による
モザイク大作



書道部



開場前の長蛇の列



野菜販売



ハム・ベーコン販売



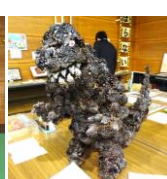
レンガのアーチ橋



お菓子の家



フォトスポット



岡本先生作「ゴジラ」

11月17日(金)、18日(土)は佐農祭、1日目は体育館での文化発表会、2日目は生産物販売会が行われました。急に本格的な冬がやってきたような天候での開催となり、特に初日は寒さに対する防備が十分でなく、体育館では寒さをこらえて観覧した生徒が多くいました。文化発表会は、クラスによる劇、ダンス、映像など様々な出し物が披露されました。また、りりしい袴姿で大作を仕上げる書道部のパフォーマンス、オカリナ吹奏楽部の優しい音色の合奏のほか、個人ステージの発表もありました。笑いの中に「なんて体は大きくなるのに夢はちっちゃくなるんだろうな」、「墓石こそが人生の本当の卒業証書」などの名言が潜んでおり、心に残りました。

2日目の販売は、登校時間帯まで強風による横殴りの雨だったため、雨天対応の準備をしていましたが、その後天気は次第に回復し、太陽が輝く、寒いけれど気持ちのいい冬の日。開始時刻前には長蛇の列ができて、準備が整った9時53分、予定の10時を前に販売会開始のアナウンスが入りました。それと同時に、来場者の列がゆっくり動き始め、受付の生徒諸君がプログラムを配布し、売り声、客引きの声が響きました。

た。

農業科学科は新米、野菜、果物、シクラメンを販売し、動物とふれあうコーナーを運営しました。食品科学科はハム、ベーコン、焼き菓子、みそ、缶詰、ジャムの販売、環境工学科はハーバリウム作成体験のほか、土木コーナーで液状化実験を行い、

シンプルながら強度のあるアーチ橋を作って来場者に体感してもらいました。また1、2年生は輪投げや松ぼっくりリブリづくり、フォトスポットなどクラスで準備した面白い企画で来場者を楽しませました。

農業クラブ 熊本全国大会

10月24日(火)から26日(木)は農業クラブ全国大会が熊本県で開催され、佐賀県代表として本校からは3競技に出場しました。平板測量競技で岩田真緒さん(環境工学科・西部中)・牛島春菜さん(環境工学科・大町ひじり中)・中村直樹さん(環境工学科・有明中)、農業鑑定競技園芸コースで百崎諒さん(農業科学科・江北中)、同・食品コースで高田志津さん(食品科学科・白石中)・井上加菜さん(食品科学科・北方中)が優秀賞を受賞しました。おめでとう!



息の合った進行



バントワリング



ヒゲダンス



オカリナ演奏

オーストラリア海外農業事情視察研修

10月16日(月)から21日(土)までの6日間、未来さが農業塾の塾生 塚島暖さん(農業科学科3年・鹿島西部中)、相良京之介さん(農業科学科2年・武雄中)、北野颯一さん(農業科学科1年・嬉野中)、向井穂乃佳さん(農業科学科1年・鹿島西部中)の4名はオーストラリアのブリスベンに赴き、慣れない英語に奮闘しつつ、ファームステイをしてオーストラリアの農場生活を体験しました。地元の高校訪問では銘々に「バディ」という接待役がつけられ、その生徒とともに1日を過ごしました。オーガニック農場、ブリスベンの名所など各所も訪問し、異文化を存分に楽しみ、実り多い研修となったようです。帰国直後には「グッモーニン!」と挨拶なさっていた引率の立石賢也先生は、「もう少し物価が安かったらもっと楽しめたと思います。夜のゴールドコースト街で逆バンジーに挑戦した生徒もいました。大きなトラブルや事故もなく帰国できたことが何よりです」と話されました。

- ①オーストラリアに到着時の印象 ②日本と違って驚いたこと ③ファームステイの感想
④英語での生活 ⑤おいしかった食べ物



塚島暖さん ①初めての海外だったので、とてもわくわくしました。飛行機の中にもいろいろな人種の人が出て、海外を実感しました。②ホテルやレストランでチップを払うこと。ベッドメイキングに2ドル、枕元に置きました。③ニワトリやヤギなど家畜の世話をしました。タピオカのようなヤギの糞をスコップで集めたりもしました。外国人の家族になれたみたいで楽しかったです。④伝わらないこともあって大変でした。ジェスチャーやグーグル翻訳を利用しました。今後は映画を英語の字幕付きで見て、英語力を高めたいです。⑤ホテルのレストランで食べたオージービーフです。固い肉が好きなのでおいしかったです。



北野颯一さん ①韓国で乗り換えてから10時間も飛行機に乗っていたので疲れました。②お金です。ドルの計算が難しかったです。③初めての海外で緊張したけれど楽しめました。1つの農園がとても広くてびっくりしました。平飼いの鶏の卵を集めました。④習っている発音と違うことがあったりして聞き取るのが難しかったです。⑤ファームステイ先で食べたグラタン



向井穂乃佳さん ①思っていたより涼しかった。②トイレで流す水が雨水だったこと。1回流すと、水がたまるまでかなり待たないといけないところ。③馬の餌やりをしましたが、学校の馬よりずっと大きくて、最初は怖かったです。みんなでおやつやご飯のお手伝いをしましたが、英語だけで説明されるので最初は困りました。④しゃべれたらもっと楽しいだろうと思いました。知っている単語から考えて答えたりしたので、単語をたくさん覚えるのは大事だなと思いました。⑤ラム肉の塊を焼いた料理とマンゴー



相良京之介さん ①気温が日本と同じくらいで過ごしやすそうだと思いました。②1つ1つの牧場の大きさに驚きました。おそらく1人当たり、佐農の10倍ぐらいの土地を持っていたと思います。それと、雨が1ヶ月降っていないところがあり、びっくりしました。③ニワトリ、ヒツジ、ヤギ、牛の世話をしました。日本にいる品種とは色、形が全然違っておもしろかったです。ホストファミリーとはUNOや折り紙をしました。④難しかったです。伝わりととても嬉しかったです。⑤ステイ先のご飯がとてもおいしかったです。特にグラタン。三食はもちろん、モーニングティーやアフタヌーンティーがあり、手作りのサンドイッチ、カップケーキ、上にジャムをのせたクッキーなど、お茶とよく合いました。



立石賢也先生 ①オーストラリアの方々の肌感覚や体型が日本人と違う。暑さや寒さに強い。②水が貴重で高価。スーパーで500mlのペットボトルが400円以上する。④身振り手振りで必死に単語を絞り出しましたが、うまく伝えられず残念。若いうちにもっと勉学に励むべきでした。⑤中華レストランのマーボー豆腐

12月行事予定

- | | |
|--|-----------------------|
| 1日(金) 期末考査(~5日) | 13日(水) クラスマッチ |
| 5日(火) 服装頭髪指導 | 14日(木) 県内進路ガイダンス(1年) |
| 6日(水) 防災避難訓練 | 15日(金) スクールカウンセラー来校日 |
| 8日(金) エイズ予防講演会(1年)、
修学旅行事前指導(2年)
進路に関する説明会(2年) | 18日(月) 三者面談(~22日) |
| 9日(土) 日本農業技術検定 | 19日(火) 農業クラブ県連リーダー研修会 |
| 12日(火) 修学旅行(2年)(~15日) | 21日(木) 全校ボランティア |
| | 22日(金) 終業式 |

編集後記 外国に行くと、日本とは違った景色、言葉、食べもの...あらゆるものがおもしろいです。でも一番心に残るのは人との出会いでした。私にとってフランスとはジャンというスキー宿で働く青年です。夏の予約メールに始まり、冬休みの滞在の終わりまで(1週間泊まりました)、彼の思い出。フランス語が上達しました。4人にとって「バディ」と過ごした時間は宝物でしょう。 K